

日時 2021年6月12日（土）～13日（日）
 会場 オンライン開催
 協力校 神田外語大学
 参加費 無料
 開催方法

Zoom Meetingsによるオンライン開催
 （資料配布等にGoogleドライブを使用）

参加申込：
<https://jalp23.peatix.com>
 （申込にはPeatixアカウントが必要です）
 申込サイトにジャンプする>>

期間中、特設ページにおいて各書店によるオンライン出展が行われます。

※都合により発表プログラムは変更される場合があります。

会場リンク

A会場

※各会場のリンクは、申込受付後に通知します。

B会場

C会場

総合インフォメーション

談話室

第1日 6月12日（土）

12:30 入室開始

13:00～15:00 口頭発表

A会場 司会：飯野公一（早稲田大学）	B会場 司会：小川敦（大阪大学）	C会場 司会：松岡洋子（岩手大学）
A-1 「日本語教育を通じた国際協力」の系譜 言語政策の観点から事業年報に注目して 工藤理恵（フェリス学院大学）	B-1 戦間期ポーランドの言語政策 国家語法（1924年）を中心に 貞包和寛（東海大学）	C-1 東京都における多言語情報提供の実態と課題 ウェブサイトとごみ収集情報を事例に 朝日祥之（国立国語研究所）
A-2 社会的課題に対する他者性と「乖離性」、そして 「わきまえ」：30年後の日本語教師への期待と不安 萩原秀樹（インターカルト日本語学校）	B-2 インド北東部ナガランド州における非公式共通語 ナガミーズ語と言語政策 村上武則（京都大学・大学院生）	C-2 神奈川県聴覚障がい児等手話言語獲得支援事業 ～政策決定過程の分析～ 古石篤子（慶應義塾大学）・河原雅浩（神奈川県聴覚障害者連盟）
A-3 認証評価の実務的知見を踏まえた日本語教育機関の 評価制度を構想する際の諸論点 小田格（中央大学）・橋内武（桃山学院大学） 岡本能里子（東京国際大学）・杉本篤史（東京国際大学）	B-3 スイスの多言語主義と言語教育政策：ジュネーヴのド イツ語教育とチューリヒのフランス語教育の比較 藤井 碧（京都大学・大学院生）	C-3 コロナ禍における国内リーダー記者会見の談話分析 量的・質的アプローチ 村田和代（龍谷大学）・石原凌河（龍谷大学）
		C-4 「やさしい日本語」から考える「簡明漢語」 —コロナ禍の中国における言語政策— 藤井久美子（宮崎大学）

15:15～16:45 パネル発表

B会場	C会場
パネル1 SDGsと言語政策 —地方自治体の多文化共生施策としての多言語対応を考える— ○趣旨説明 ○SDGs未来都市つくばにおける行政サービスの多言語対応 森 祐介（つくば市） ○多文化共生時代の教育における共創と循環—茨城県グ ローバル・サポート事業の事例から— 澤田浩子（筑波大学） ○SDGs未来都市と自治基本条例に見る言語事象 —ニセコ町と石垣市を事例として— 山川和彦（麗澤大学） ○SDGsの達成に貢献する言語政策—地方自治体の「共生計 画」としての多言語対応— 白山利信（筑波大学）	パネル2 医療現場における外国人対応の課題 Withコロナ時代の安心安全な多言語多文化共生社会を目指して ○趣旨説明 岡本能里子（東京国際大学） ○公共サインと商業サインの狭間 本田弘之（北陸先端科学技術大学院大学） ○病院内のピクトグラム・システムとその導入 武山良三（富山大学） ○医療現場におけるやさしい日本語の取り組み 岩田一成（聖心女子大学） ディスカッタント 武田裕子（順天堂大学）

第2日 6月13日（日）

9:00～10:30 理事会

10:30 入室開始

11:00～12:00 ポスター発表・WiPセッション

※ブレイクアウト・ルーム機能を用います。各会場に入室後、各ルームに移動してください。WiPセッションではW-1とW-2、W-3とW-4の発表が、同じルームで行われます。

A会場 ポスター発表

P-1 やさしい日本語における意識調査 兵藤桃香（長岡工業高等専門学校）
P-2 江戸後期の日本における言語イデオロギーと仮名文字の地位 赤桐 敦（京都大学）

B会場 WiPセッション

W-1 京都府八幡市における大学地域連携によるインバウンド対応プロジェクト 村田和代ゼミ（龍谷大学）
W-2 メディア誘発型観光研究を応用したリスポンシブルツーリズム促進のための啓発活動 池田麻衣子ゼミ（龍谷大学）

W-3 Academics as language policy arbiters 大友瑠璃子（北海道大学）
W-4 『言語を仕分けるのは誰か ポーランドの言語政策とマイノリティ』（2020年、明石書店）の内容紹介 貞包和寛（東海大学）

12:45 会長・協力校挨拶

会長挨拶 山川和彦（日本語政策学会会長・麗澤大学）
 協力校挨拶 宮内孝久（神田外語大学学長）

13:15～14:15 基調講演

誰もが分かり合えるユニバーサルコミュニケーションの実現に向けた取り組み

内元清貴（国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT））

14:30～16:30 シンポジウム

2050年へ向けた日本の言語政策・再

- 社会的弱者を軸に21世紀初頭をふりかえる：2050年までの30年をかんがえるための回顧と整理
- 情報保障としての医療通訳
- 就労者に対する日本語教育：就労現場のフィールドワークから
- 今後の言語政策研究に必要な論点：英語教育政策研究を事例に

ましろ・ひでのり（中京大学）
 糸魚川美樹（愛知県立大学）
 神吉宇一（武蔵野大学）
 寺沢拓敬（関西学院大学）
 ディスカッタント：杉本篤史（東京国際大学）・司会：上村圭介（大東文化大学）

16:30～17:00 総会

A会場